愛知県看護協会保健師職能委員会活動情報誌　VOL. 5

PH Petit Health News

保健師職能委員長より

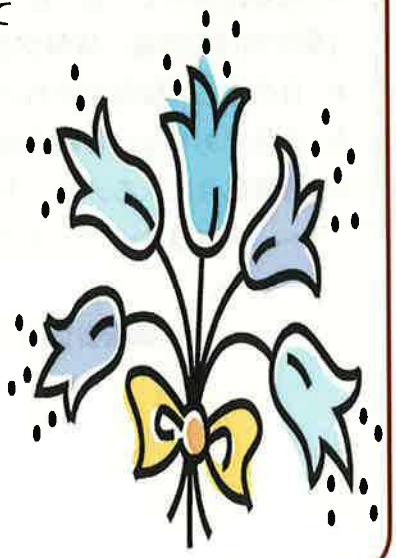
冨樫　亮子

すっかり寒くなりました。保健師のみなさんにはお変わりありませんか？
保健職能委員長の任務にも少し慣れてきました。都道府県保健師職能委員長会議等に出席して行政（厚生労働省）と日本看護協会を始めとする職能団体がネットワークを強化することが大切ではないかと感じるようになりました。愛知県看護協会（保健師職能）としても行政や他の職能団体との連携をうまく図っていきたいと思っています。

現在、日本看護協会（保健師職能）は
保健師の専門性が発揮できる人材育成と活動環境の充実を目指しており、そのために実態調査やモデル事業を踏まえて政策提言をしています。
例えば、平成２１年度「保健師の活動基盤に関する基礎調査」で市町村や産業に所属する中堅者及び管理的保健師の受講機会が少ない傾向がみられるなどの課題を明らかにするために、平成２２年度も同様の調査を実施しました。調査にご協力いただきましてありがとうございました。

管理的保健師については、今年度、厚生労働省が市町村保健師を対象に「保健師管理者能力育成研修」を全国５ブロックで実施しました。
日本看護協会は中堅期保健師の力量形成をねらった「保健師活動コンサルテーション事業」を開始しました。（※詳細は愛知県看護協会たより 2010 秋号をご覧ください）

このように課題になった事項に関して行政と協会等で連携して対策を講じています。「保健師活動コンサルテーション事業」については、愛知県は市町村と産業部門から参加しており、当職能委員会も会議等に出席し、応募した保健師のサポートをしています。成果については次年度の研修会等でみなさんに情報提供をする予定です。



保健師の職能集会・合同報告会を平成２３年２月４日（金）に開催しますので、みなさんの看護協会に対する期待や意見を是非聞かせていただきたいと思います。
多くの会員の参加をお待ちしています。

「保健師職能」を意識した保健師職能交流会でした

山田昌美（保健師職能委員）

平成２２年7月２４日（土）に看護研修会館において、「保健師の活動基盤に関する基礎調査から見えるもの　－働き続けるために必要な条件－　」と題して、日本看護協会常任理事の伊井久美子氏の講演とグループワークを行いました。

参加者：７９名（うち会員外の方１２名）

【講演概要】

※ 日本看護協会の最新情報と政策提言として、保健師を取り巻く環境の変化から見た「保健師が保健師として育つ基盤の大切さ」や、２１年度実施した保健師の全国区調査から見えてきた課題と、充分ではない保健師の現任教育の現状の中で、今後は新人を育成するためにも中堅期及び管理職保健師の教育の重要性について

※ 平成２１年７月の保助看法等の一部改正をめぐり、その概要と看護基礎教育改革の取り組み、今後の保健師教育の推進について

【グループワーク】

行政・産業・教育等各分野の方が混在する６～７人のグループに分かれ、職場で感じている業務の課題（多様化・分散配置、困難ケースの増加や現任教育の大切さ）、資質向上に努めている等の意見交換

↓

今の自分の保健師としての足場を確認すると共に、次のステップへのヒントを共有できました。

【アンケートより　～一部抜粋～】

＊ 基礎教育について、制度が改正したと聞いても具体的に解からなかったことが明確になった。

＊ 大学院まで進んで熱い思いの人に保健師になって欲しいし、現場は保健師の地位を上げるよう努力し、受け皿を整えることが重要と感じた。

＊ 自分が選んだ保健師という職種について考えた。自分の立ち位置、育ってくる後輩など日頃の想いを整理できた。

＊ 基礎調査の意味が具体的に理解できた。

＊ 職場は違っても思いは一緒だと思えた。それが職種の結集する力となりうるものと思えた。

【職能団体の意義、情報交換の重要性等】

＊ 自分たちの職種を守ることを真剣に考える必要がある。

＊ 会員でありながら職能委員の活動をあまり理解していない。

＊ 看護協会に入るメリットが判らずにいたが少しわかった気がする。職能団体の意義が理解でき、参加してよかった。今後も情報発信をして欲しい。

職能委員会としては、今後も意見交流の機会を設けていきたいので、
是非参加を！！

「保健師の活動基盤に関する基礎調査　―第２弾―　」が終了しました。

厚生労働省委託の先駆的保健師活動交流促進事業として実施されました、全国の保健師を対象とする「保健師の活動基盤に関する基礎調査」が、平成２２年１０月２９日をもちまして修了しました。当初予定より期間延長して実施率を上げることができました。

愛知県では、期間延長に伴い、再度職場からの呼びかけ、周りへの口コミ・呼びかけにご協力いただき、その結果、締め切りまでの２週間で、なんと５８１名の追加となり、回答数は１２１６件と２１年度同様、全国１位でした。

前年度同様たくさんの方のご協力をいただきありがとうございました。

全国回答数も２２１７９件（５１％）と前年度を上回る結果となりました。

愛知県の詳細な結果については、次回の情報誌でお伝えします。

愛知県看護協会では、**「まちの保健室」**活動として、県民の健康づくりや専門看護相談などを地区に出向いて実施しています。今回は保健師職能委員が実施したその一部を紹介します。

岩田はるみ（保健師職能委員）

☆☆☆　愛知県民健康祭　☆☆☆

平成２２年９月１８日（土）１９日（日）の２日間、大府健康プラザで開催された「県民健康祭」では、保健師職能委員が中心になって担当した「看護協会ブース」に、延１１００人の参加がありました。　おもな内容は、「体脂肪測定」「体のバランスチェック」「手洗いチェック」です。

※ 今年からメニューに入れた「手洗いチェック」は、しっかりやっているつもりで、案外できていない、日頃の自分の手洗い方法について見直すきっかけになればと企画しました。

※ 子どもと一緒に参加した大人のほうが充分手洗いできておらず、自分の手を手洗いチェッカーで見て「ギョ」とする場面もありました。「もう一回洗ってくる」と飛び出していく、負けん気な子どもの姿もたくさん見かけました。

※ 楽しみながらもこの体験をきっかけに、心身ともに健康の保持と増進を心がけてもらえればと思います。

※

チューキョーくんの子育て応援団「すこやかフェスタ」

平成２２年１０月２３日（土）２４日（日）の２日間、日本ガイシホールで開催されました。お父さんもいっしょにベビーカーを押した家族連れも多く、２日間を通して３２００人の来場者があり、とてもにぎわいました。３職能（看護師・助産師・保健師）で身体測定、赤ちゃんマッサージ、母乳相談、育児相談を実施しました。

人気の「子どもユニフォーム着用」では、子どもたちは「看護師なりきりスタイル」で写真に納まっていました。

✿職能集会・合同報告会のおしらせ✿

◆　日時　：平成２３年２月４日(金)　１０時３０分～１６時まで

◆　場所　：ウインクあいち（愛知県産業労働センター）

◆　内容　：Ⅰ部：職能集会（１０時３０分～１１時３０分）

※保健師職能の活動報告、意見交換会

Ⅱ部：合同報告会（１３時００分～１６時００分）

（１）講　演：「卒後臨床研修への取り組みと課題」

愛知県看護協会会長　中井加代子

（２）報告１：保健師　「保健師の現状と新任期の人材育成」

報告２：助産師　「助産の教育実態と連携」

報告３：看護師　「病院教育担当者活動を通じての課題・効果」

◆　参加費：無料　　◆　対象　：会員

★職能集会・合同報告会は　職能の意見交換の場であり、他職種との相互理解の場です
みなさんの参加をお待ちしています。

看護職賠償責任保険制度について

「看護職賠償責任保険制度」とは、看護職である私たちが「他人の身体や財物に損害を与えたり、人格を侵害したため、法律上の負担をしなければならない損害賠償責任を補償するもの」です。最近では職場が訴えられるだけでなく、個人が訴えられる事例もあるようです。

各自が自分を守る時代となりました。「保健師だから、行政機関に勤務しているから関係ないわ」と思っているあなた・・・・。最近の事例にはこんなこともあります。

『保健指導をしたパンフレットが古く、指導内容に対して不利益を被った』『介護認定の調査で骨折させた』『予防接種で感染させた』『健康診断の結果に誤りがあった』『採血の際痛みがあった』などと賠償請求される場合も考えられます。そんな場合にも対応しています。

■　日本看護協会の「看護職賠償責任保険制度」加入をおすすめします。

☆　保健師が専門職として認められ、必要とされるために。

☆　社会的地位の確立と向上を目指すために。

未入会の方に是非、看護協会の加入を勧めてください！！

社団法人　愛知県看護協会

〒４６６－００５４　名古屋市昭和区円上町２６番１８号

TEL　０５２－８７１－０７１１

Fax　０５２－８７１－０７５７

http://www.aichi-kangokyokai.or.jp/